

平成 30 年 5 月 22 日

NPO 法人 研究実験施設・環境安全教育研究会 (REHSE)

会員各位

NPO 法人 研究実験施設・環境安全教育研究会 (REHSE)

理事長 大島 義人

第九期通常総会・研究会開催のご案内

拝啓 新緑の候、会員の皆様方にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素は当研究会の活動にご理解ご支援を賜り誠に有難うございます。

さて、第九期通常総会・研究会および懇親会について下記の通りお知らせいたします。お忙しい折とは存じますが、万障繰り合わせの上、是非ご出席いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

【第九期通常総会】

- 日時 平成 30 年 6 月 8 日(金) 13:00 - 13:40
場所 東京大学 本郷キャンパス 弥生講堂アネックス セイホクギャラリー
添付の PDF ファイル参照。
目的 第九期通常総会として開催し、下記事項に関する審議および報告を行う。

総会議案書

1. 開会の辞・理事長あいさつ
2. 議長・書記・議事録署名人の選出
3. 議題
 - 第 1 号議案 第八期（平成 29 年度）事業報告、決算および会計監査報告
 - 第 2 号議案 役員を選任
 - 第 3 号議案 第九期（平成 30 年度）事業計画、予算
 - 第 4 号議案 定款の変更
4. 報告事項
 - ・ 第九期活動方針
 - ・ 会員構成
 - ・ 第八期活動実績
5. 閉会の辞

【研究会】 14:45～17:00 (同会場)

【1】REHSEの活動に関する報告

1. ヒュームフード推奨基準～点検編～

ヒュームフード推奨基準策定小委員会（委員長：春原伸次理事）では、「フード屋の魂」の続編として、ヒュームフードを中心とする実験関連機器等の保守点検の重要性をわかりやすく解説するコンテンツ製作を進めている。ここでは、近く運用開始となる同成果物の特徴について紹介する。

2. JASIS2018 出展

REHSEの活動紹介と普及を目的として企画された「JASIS2018」（9/5～7、於幕張メッセ）ライフサイエンスイノベーションゾーンへのブース出展について紹介する。

【2】実験室のレイアウトを考える ～オープンラボとは～

実験の安全において、実験が行われる場となる実験室のあり方が深く関わる。頻繁な実験目的や実験内容の変更、人数の変動や人の入れ替わり、限られた予算など、さまざまな制約条件がある中でユーザーの実験が安全かつ快適に行われるための合理的な場のあり方とは？

本プログラムでは特に海外で主流となっている「オープンラボ」について、そのメリットと運用の実態について事例紹介し、その上で今後のラボデザインのあり方について議論を行う。

◎主旨説明 (名古屋大学 富田 賢吾教授)

◎建築家はなぜオープンラボを好むのか？ ～オープンラボのコンセプトとメリット～
(株式会社日建設計 門田 睦雄氏)

◎オープンラボを運用している事例、問題点 ～複数大学等における事例を踏まえて～
(名古屋大学 富田 賢吾教授)

◎海外のラボデザインについて (ヤマト科学株式会社 中田 正仁氏)

◎討論：「実験室のレイアウトを考える」

【懇親会】 17:00～19:00

会場 向ヶ岡ファカルティハウス「アブルボア」（東京大学農学部内）

会費 5,000円

総会・懇親会の出欠については、添付のファイルへご記入いただき、REHSE事務局宛で5月30日(水)までにメール等にてご回答をお願いいたします。

なお、やむを得ず総会をご欠席の方は、委任状も併せてお送り願います。

以上、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。



www.rehse2007.com